

アレルギー専門医（内科系）の診療実績目標

以下は内科系アレルギー専門医の取得に際して望まれる診療実績の目標であり、専門医受験時の診療実績提出の際に参考すべきものである。（ ）に示したものは、所属医療機関の地域や規模等により診療疾患の内容や数に差異がある為、必須とはしていない努力目標である。

1. 疾患別診療実績

1)	気管支喘息長期管理	50 例（うち 10 例以上がステップ 4）
2)	急性喘息発作	中発作 10 例、大発作 3 例
3)	咳喘息、アトピー咳嗽	計 5 例
4)	アナフィラキシー （食物依存性運動誘発性アナフィラキシーを含む）	5 例（うち急性期 2 例）
5)	花粉症	20 例
6)	アレルギー性鼻炎（通年性）、好酸球性副鼻腔炎	10 例
7)	好酸球性肺炎・アレルギー性気管支肺真菌症	（各 2 例）
8)	過敏性肺炎	（2 例）
9)	昆虫アレルギー（ハチを含む）	（2 例）
10)	薬物アレルギー	（2 例）
11)	薬剤性肺炎	（1 例）
12)	食物アレルギー	3 例
13)	アトピー性皮膚炎	3 例
14)	蕁麻疹/血管浮腫	3 例
15)	口腔アレルギー症候群	（3 例）
16)	アレルギー性肉芽腫性血管炎	（1 例）
17)	好酸球増多症候群	（1 例）

2. 検査治療実績

1)	アレルゲン同定	特異的 IgE 抗体測定 30 例 （または皮膚テスト 20 例）
2)	アレルゲン回避指導	30 例
3)	アレルゲン免疫療法 [Ⓝ]	（導入 10 例、維持療法 20 例）
4)	アドレナリン自己注射システム指導	（5 例）
5)	ピークフロー管理指導	5 例
6)	気道可逆性検査 ^{ⓃⓃ}	（10 例）
7)	気道過敏性検査 ^{ⓃⓃ}	（5 例）
8)	誘発喀痰または BAL 細胞分画検査	（5 例）
9)	環境真菌に対する IgG 抗体 または沈降抗体測定 ^{ⓃⓃⓃ}	（2 例）
10)	生物学的製剤治療	5 例

Ⓝ：ハチ毒抽出エキスなどについては、現段階（2024 年 5 月）で保険適応がないので注意を要する。

ⓃⓃ：適用保険点数は審査委員の方針、地域差、気道過敏性検査では検査法、などによって変わる。

ⓃⓃⓃ：一部が保険適応がないので注意を要する。

アレルギー専門医（小児科系）の診療実績目標

以下は小児科系アレルギー専門医の取得に際して望まれる診療実績の目標であり、専門医受験時の診療実績提出の際に参考すべきものである。（ ）に示したものは、所属医療機関の地域や規模等により診療疾患の内容や数に差異がある為、必須とはしていない努力目標である。

1. 疾患別診療実績

1)	気管支喘息長期管理	30例（うち10例以上がステップ3以上）
2)	気管支喘息急性発作 中発作以上	10例
3)	食物アレルギー	20例
4)	アトピー性皮膚炎	20例
5)	花粉症	10例
6)	通年性アレルギー性鼻炎	10例
7)	蕁麻疹	5例
8)	昆虫アレルギー	(2例)
9)	アナフィラキシー (食物依存性運動誘発性アナフィラキシーを含む)	(2例)
10)	薬物アレルギー	(2例)
11)	免疫不全症	(2例)
12)	アレルギー児への適切な対応について、保育所・幼稚園・学校等へ連絡（指示書等）：	(2例)

2. 検査治療実績

1)	アレルゲン同定	特異的IgE抗体測定50例 (または皮膚テスト20例)
2)	アレルゲン回避指導	30例
3)	食物除去・負荷試験	20例
4)	食物除去療法の導入・解除指導	20例
5)	ピークフロー管理指導	3例
6)	気道可逆性検査	5例
7)	気道過敏性検査	(5例)
8)	アレルゲン誘発試験 (薬剤アレルギーのチャレンジを含む)	(5例)
9)	アドレナリン自己注射システム指導	(5例)
10)	アレルゲン免疫療法	(導入2例、維持療法2例)

アレルギー専門医（皮膚科系）の診療実績目標

以下は皮膚科系アレルギー専門医の取得に際して望まれる診療実績の目標であり、専門医受験時の診療実績提出の際に参考すべきものである。（ ）に示したものは、所属医療機関の地域や規模等により診療疾患の内容や数に差異がある為、必須とはしていない努力目標である。

1. 疾患別診療実績

1)	アトピー性皮膚炎	20 例
2)	接触皮膚炎	20 例
3)	蕁麻疹、血管浮腫および痒疹	計 20 例
4)	自己免疫性皮膚疾患 (天疱瘡、類天疱瘡など)	(3 例)
5)	血管炎および SLE、皮膚筋炎、 シェーグレン症候群などの膠原病	(5 例)
6)	昆虫アレルギー	(2 例)
7)	薬物アレルギー	10 例
8)	食物アレルギー	(2 例)
9)	花粉症	(5 例)
10)	アレルギー性鼻炎 (通年性)	(2 例)
11)	口腔アレルギー症候群	(2 例)
12)	アナフィラキシー	(2 例)
13)	喘息を含むそのほかのアレルギー性疾患	(5 例)

2. 検査治療実績

1)	アレルゲン同定	特異的 IgE 抗体測定 30 例
2)	アレルゲン回避指	30 例
3)	アレルゲン免疫療法	(導入 2 例、維持療法 2 例)
4)	パッチテスト	20 例
5)	プリックテストもしくは皮内テスト	20 例
6)	D L S T	(20 例)
7)	アレルゲンの誘発試験 (薬剤アレルギーのチャレンジを含む)	(5 例)
8)	アドレナリン自己注射システム指導	(2 例)

皮膚科で経験できるアレルギー疾患は皮膚アレルギーが主で花粉症、食物アレルギー、喘息は努力目標とした。

アレルギー専門医（耳鼻咽喉科系）の診療実績目標

以下は耳鼻咽喉科系アレルギー専門医の取得に際して望まれる診療実績の目標であり、専門医受験時の診療実績提出の際に参考すべきものである。（ ）に示したものは、所属医療機関の地域や規模等により診療疾患の内容や数に差異がある為、必須とはしていない努力目標である。

1. 疾患別診療実績

1)	アレルギー性鼻炎（通年性）	30 例
2)	花粉症（アレルギー性結膜炎を含む）	30 例
3)	慢性副鼻腔炎（非好酸球性）、鼻茸	20 例
4)	本態性鼻炎、好酸球増多性鼻炎	3 例
5)	滲出性中耳炎	30 例
6)	好酸球性副鼻腔炎・中耳炎 （アスピリン過敏症を含む）	20 例
7)	慢性咳嗽 （喉頭アレルギー、アトピー咳嗽、咳喘息を含む）	5 例
8)	口腔アレルギー症候群	5 例
9)	軟部好酸球性肉芽腫症	2 例
10)	ANCA 関連血管炎（副鼻腔炎・中耳炎含む）	2 例
11)	胃・食道逆流症	（5 例）
12)	シェーグレン症候群	（5 例）
13)	NKTリンパ腫	（1 例）
14)	再発性多発軟骨炎	（1 例）
15)	アナフィラキシー	（1 例）
16)	喘息を含むその他のアレルギー性疾患	（10 例）

2. 検査治療実績

1)	アレルゲン同定	皮膚テスト 30 例、 特異的 IgE 抗体測定 30 例
2)	鼻汁好酸球検査	30 例
3)	アレルゲン回避指導	30 例
4)	アレルゲン免疫療法	導入 10 例、維持療法 10 例
5)	アドレナリン自己注射システム指導	2 例
6)	生物学的製剤治療	5 例

アレルギー専門医（眼科系）の診療実績目標

以下は眼科系アレルギー専門医の取得に際して望まれる診療実績の目標であり、専門医受験時の診療実績提出の際に参考すべきものである。（ ）に示したものは、所属医療機関の地域や規模等により診療疾患の内容や数に差異がある為、必須とはしていない努力目標である。

1. 疾患別診療実績

1)	アレルギー性結膜炎	30 例
2)	春季カタルまたはアトピー性角結膜炎	10 例
3)	巨大乳頭結膜炎	(3 例)
4)	アトピー性眼瞼炎	4 例
5)	アトピー性白内障	3 例
6)	アトピー性網膜剥離	2 例
7)	ぶどう膜炎または強膜炎	10 例
8)	喘息を含むその他のアレルギー性疾患	(10 例)

2. 治療別診療実績

1)	巨大乳頭切除 [※]	(3 例)
2)	角膜プラーク除去 [※]	(3 例)
3)	アトピー性白内障手術	(5 例)
4)	アトピー性網膜剥離手術	(5 例)

3. 検査治療実績

1)	アレルゲン同定	特異的 IgE 抗体測定 20 例 (または皮膚テスト 20 例)
2)	アレルゲン回避指導	30 例
3)	結膜擦過物中の細胞診	5 例
4)	涙液中総 IgE 検査	20 例

※：現段階（2024 年 5 月）で保険適応がないので注意を要する。